

令和3年1月7日
(事務担当)
総務課人権推進室
道上
TEL : 076-225-1235
内線 : 3386

人権啓発リーフレット「新成人に贈る人権メッセージ」の配布について

1 目的

日々の生活の中、何気ない言葉や行動で周りの人の心を傷つけていることがあります。

しかし、常に他人に対する「思いやりのこころ」を持ち、正しい人権感覚を身につけるよう心がければ、心豊かな社会を築くことができます。

そこで、人生の一つの節目を迎えた新成人に対し、人権の尊重が自分たちの行動規範となるよう、人権メッセージを伝える啓発用リーフレットを、成人式において配布するものです。

2 リーフレットの内容

(新成人へのメッセージ)

- ・ 石川県知事 谷本正憲 『相手を思いやる心』
- ・ 脚本家 水橋文美江 『新成人の皆様へ』
(金沢市出身)

(新成人の人権に関する経験談)

- ・ かほく市 丸山雄大 『今こそ思いやりを』
- ・ 能登町 坂下ちえり 『感謝の気持ち』

3 その他

- (1) リーフレット (B4 3つ折り カラー刷り) は、9,000部作成し、令和3年の市町の成人式で配布する。
- (2) 「新成人に贈る人権メッセージ」は、平成11年の成人式から配布している。

じんけん 人権とは…

「人権」というと、どうしても、特別なこと、難しいこと、堅苦しいことといったイメージを思い浮かべがちです。

しかし、「人権」は私たち一人ひとりにとってかけがえのないとても大切なものであり、誰もが生まれながらにして持っている、誰からも侵されることのない、人として幸せに生きていくための当然の権利です。

また、日頃からの思いやりの心によって守られるものであり、だれもが心で理解し、感じることができるものではないでしょうか。

今、新型コロナウイルス感染症に関する様々な人権の問題をはじめ、インターネット上での誹謗中傷の書き込み、学校でのいじめや体罰、子どもに対する虐待、性別および性的指向・性自認の違いや同和地区出身という理由による差別、お年寄りの疎外、障害のある人、外国人、アイヌの人々、ハンセン病などの感染症患者、刑を終えて出所した人に対する偏見、犯罪被害者とそのご家族への興味本位のうわさや中傷、拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害や、高齢者など配慮を必要とする方々の災害時における人権問題など、数多くの人権にかかわる問題が起きています。

私たちは、誰もがみな幸せに生きていきたいと思います。同時に、家族や友人などまわりの人々の幸せも願っています。すべての人々が幸せに生きていくために、お互いの人権を尊重し、「誰か」のことではなく、自分自身のこととして考え、行動しましょう。

世界人権宣言

(1948年12月10日第3回国際連合総会で採択)

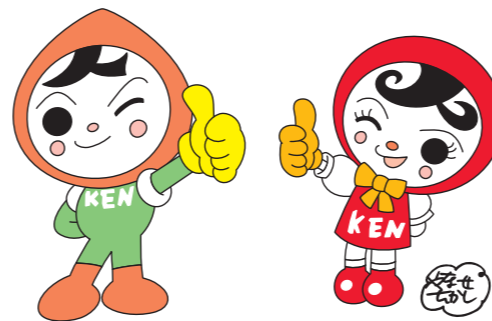
第1条 すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利について平等である。人間は、理性と良心とを授けられており、互いに同胞の精神を持って行動しなければならない。

新型コロナウイルス感染症に関する様々な人権侵害をなくそう

現在、新型コロナウイルス感染症に対する知識や理解の不足から、日常生活、職場、医療現場など社会生活の様々な場面で差別や偏見、いじめ、虐待などの人権問題が発生しています。

**相手の気持ちを考え、やさしさを忘れず、
みんなでこの困難を乗り越えていきましょう。**

誰もがお互いの人権を尊重し合うために、
「誰か」のことではなく自分自身のこととして考え、
行動しましょう。



人権イメージキャラクター
人KENまもる君・人KENあゆみちゃん



石川県総務課人権推進室

TEL.076-225-1235

<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/soumu/>
石川県人権啓発活動ネットワーク協議会



このリーフレットは再生紙を使用しています。

2021年 新成人へ贈る人権メッセージ

「誰か」のことじゃない。

HUMAN RIGHTS MESSAGE



MESSAGE



「相手を思いやる心」

石川県知事
たにもと まさのり
谷本 正憲

新たに成人を迎えられた皆さんに、心からお祝いを申し上げます。

二十歳という年齢は、周囲から大人としての自覚と社会に対する責任ある行動がこれまで以上に求められることとなる、人生における大きな節目です。

今、新型コロナウイルス感染症に関連する差別や偏見、いじめ、誹謗中傷が大きな問題となっています。

感染者や医療従事者、その家族などに対する差別や偏見につながる行為は断じて許されません。皆さんには、正しい情報に基づき、一人の大人として、冷静な行動をお願いいたします。

差別や偏見のない、誰もが幸せに暮らせる社会を築いていくためには、私たち一人ひとりが自分自身をかけがえのない存在であると自覚すると同時に、他の人も同じく大切な存在であることを心に刻み、お互いに相手を思いやることがとても大切です。

『論語』に「己の欲せざる所、人に施す事なかれ」という言葉があります。自分がされて嫌なことは人にもしてはいけないという意味ですが、いつの時代も、相手の立場になって考える「思いやる心」を忘れてはいけないということを、現代に生きる我々にも伝えてくれています。

大人の仲間入りをした皆さんが、新たな時代を築いていくためには、困難なことにも積極果敢にチャレンジする勇気や的確な洞察力、行動力が求められますが、もう一つ、お互いを尊重し合う「思いやる心」を持って、その若い力を大いに発揮されることを心から期待しています。

成人



今こそ思いやりを

まるやま たけひろ
丸山 雄大(かほく市)

私は家族、友人、そして地域の方々の支えがあり、なに不自由なく生活でき、そして今年、二十歳を迎えることができました。

今年は新型コロナウイルス感染拡大でとても大変な年となりました。私は今こんな状況だからこそ、「思いやり」を大切にしたいと思います。外出時には必ずマスクをする。店に入る時は、アルコール消毒をする。こういった感染防止対策でしていることも、自分の為そして周りの人の為でもあるので、私は「思いやり」のある行為だと思います。しかし、ネットなどでは、新型コロナウイルスに感染した人に対して、思いやりの無いことを言っている人達もいます。そうやって、非難するのではなく、その人が頑張れる、元気が出る声かけができればいいなと思います。人は誰も一人では生きていけません。今、不安な時だからこそ皆で支え合っていかなければいけないと思います。



感謝の気持ち

さかした
坂下 ちえり(能登町)

この度、成人を迎えるにあたり、改めて「思いやり」や「優しさ」について考える機会を与えていただいたことに感謝いたします。

私は今、塾講師のアルバイトをしています。コロナ禍の影響で、受験生の不安が問題視されています。そこで、私の塾ではオンラインによる授業や、自習室の開講など、様々な対策が行われました。その裏では、塾長をはじめ講師陣でたくさん話し合いを重ね、生徒を全力でサポートする姿が見られました。私が受験生だった頃にも、同じように先生方や両親が頑張ってくれていたと思うと、今でも感謝の気持ちが溢れます。今の自分があるのは、周りの方々の支えがあったからです。大学生になり、特にコロナが流行し始めてから、その偉大さに気づくことが出来ました。

もう一度振り返って、自分にとっての当たり前は当たり前ではないと自覚し、感謝の気持ちを忘れず、私も人のために尽力していきます。

MESSAGE



新成人の皆様へ

脚本家
みずはし ふみえ
水橋 文美江

ご成人おめでとうございます。

ついに20年という月日が過ぎましたね。誰もが子供だった、あどけない笑顔だった頃を思うと、胸が熱くなります。良いことだけではなく、辛いこと苦しいこともあるのが人生です。まずはこの日まで無事でいてくれたことに心より「ありがとう」と言いたいです。

昨年は新型コロナウイルスという感染症のため、世界的にも思ってもみなかったことが起きました。哀しいニュースに戸惑いや不安も過ったのではないのでしょうか。私自身もNHK朝の連続テレビ小説「スカーレット」を執筆し終えたばかりで、先行きの不透明さに困惑し、時には暗澹たる気持ちになりかけました。そんな時に「スカーレット」の中でヒロイン・喜美子が息子に向かって叫ぶシーンを思い返しました。前向きさを知ること、強くなれることを願って、ここに、成人のお祝いの言葉にかえてヒロインのセリフをお贈りします。「楽しむんやでー!! なんでも楽しみなさい!! ツマらんかったらツまらんあゆうてツまらんことを楽しみなさい!! しんどかったらしんどいなあゆうてしんどいことを楽しみなさい!!」……いつもと変わらない1日は特別な1日、そう思って、なんでも楽しみましょう。生きてってください。

水橋 文美江(みずはし ふみえ)

脚本家・石川県金沢市出身。
主な作品歴:平成6年「夏子の酒」、「妹よ」、平成19年「ホテルノヒカリ(ドラマ、映画)」、令和元年「スカーレット(NHK連続テレビ小説)」、令和2年「#リモラブ~普通の恋は邪道~」等多数。